

事業所名

児童発達支援センター ぶどうの樹未来塾

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

13 日

法人（事業所）理念		からだづくり、こころづくり。保護者の皆様との共育(共に育て、共に育つ)							
支援方針		通園療育/個別療育/土曜塾の3つのプログラムを提供している児童発達支援センターです。通園療育では月齢や発達年齢に合わせた3クラス(ひよこ組・りす組・きりん組)の中でその子の個性に合わせた保育や季節行事を行います。個別療育では理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による専門的なアプローチを提供しています。土曜塾では苦手よりも得意や好きに着目した運動と音楽のプログラムを実施しています							
営業時間		8 時	0 分	から	17 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり（通園/個別療育のみ）
支 援 内 容									
		通園療育			個別療育			土曜塾	
本人支援	健康・生活	初めての母子分離から就学に向けてという長いスパンで食事・昼寝・身辺自立という基本的な生活習慣の確立に向けた支援をします。			生活課題に応じた訓練を実施しています。個別で学んだことを集団に活かせるように支援しています。食事や身支度、挨拶等の生活に般化していきます。			運動や音楽が児の将来の生活の中での余暇や強みに繋がるように支援しています。	
	運動・感覚	保育を通じて運動や感覚に着目した活動を日々提供していきます。通園の中で一日を過ごせる、就学に向けた体力づくりを支援していきます。			トランポリンや平均台を用いて、体の使い方の再構築。ユニバーサルフレームスパイダーを使用し、立位経験やジャンプの経験を取り入れ、感覚面へのアプローチをしています。			運動教室では体の使い方や感覚に特化したプログラムを実施しています。音楽教室ではリトミックの要素や楽器等を取り入れて感覚面の支援をしています。	
	認知・行動	毎日の基本的な生活リズムが固定されていることで、朝の会～学習(公文)～活動～給食といった流れを児自らが理解して行動できるように配慮・支援しています。			ワークシステムや時間の約束事を決め、運動と課題の切り替えを支援します。また、見通しを立てて課題の量や時間等を明示してしています。それにより成功体験に繋げ、達成感や自己肯定感に繋げています。			好きや得意を通じて児が自分で考え行動できる力を養っていただけるように支援していきます。	
	言語コミュニケーション	児に寄り添い丁寧に言葉かけをしたり、言語聴覚士の個別療育とも連携を図りながらコミュニケーションの支援をしています。			子どもの興味・関心を取り入れジェスチャー・アイコンタクト・言語等の発達段階に応じたコミュニケーション支援を実施。課題の中で場面設定し、場面に応じた要求動作を引き出しています。			楽しいという感情が言葉の数の増加やコミュニケーションに良い影響を及ぼすことが出来るよう支援していきます。	
	人間関係社会性	集団の特徴を活かしお友達と共に過ごす楽しさや、順番を守ること、貸し借りをすることを日々の生活の中で学んでいけるように支援します。			5名程度の集団でプログラムを実施します。また、個別療育の場合でも1対1でルールや順番、勝ち負けのある課題を取り入れていながら社会性を養うことが出来るよう支援しています。			5名程度の集団でプログラム実施します。運動や音楽の場面設定の中で人間関係や社会性も合わせて支援していきます。	
家族支援		定期的な保護者面談や、季節行事を含んだ親子療育の実施を通して保護者様との情報共有に努めています。				移行支援		保育所等訪問支援の指定も受けています。保育所や幼稚園、特別支援学校とも連携を図りながら、児の次のステージに向けた移行支援にも取り組んでいます。	
地域支援・地域連携		筑後市唯一の児童発達支援センターとして、市内の障がい児を対象としたイベントの開催や、保育所や福祉施設職員向けの勉強会の開催をしています。				職員の質の向上		左記の勉強会の企画・実施。また、近隣市町村の他施設への施設見学を通して職員の質の向上に努めています。	
主な行事等		4月：入園式 7月：プール開き 10月：運動会 12月：クリスマス会 1月：餅つき 2月：いちご狩り 3月：卒園式 ※その他、クラス単位での親子行事を定期的に開催しております。							